

知的障害特別支援学校におけるメンタルヘルスの問題の早期発見・早期対応の試み

—子どものSOSを発する力と教職員のSOSに気付く力を高める
取組を通じて—

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 養護教育実践系
與語 ゆき枝

本研究の目的は、子どものSOSを発する力と教職員のSOSに気付く力を高める取組を通じ、知的障害特別支援学校におけるメンタルヘルスの問題の早期発見・早期対応を目指すことである。まず、子どものSOSを発する力を高めるため、高等部の生徒を対象に、生徒自身が記入する保健調査、生徒一人ひとりに行う健康相談、視覚的に学ぶストレスマネジメント教育を行った。次に教職員のSOSに気付く力を高めるため、SCと連携して職員研修を実施した。その結果、生徒が自身の心身の状態のセルフモニタリングを行い、自分の心身の状態や気持ちを言葉にして発することができるようになった。また、教職員は、メンタルヘルスリテラシーを高めることにより、子どもの訴えを批判することなく受け止め、子どもの問題の背景を意識した発達支持的な支援を行う姿勢へと変化した。

子どもと教職員に働きかけることにより、子ども自身の訴えを引き出し、メンタルヘルスの問題の早期発見・早期対応につなげることができたと考える。